

MR経て起業 医療DXに挑戦

ピル処方 の遠隔診療を 展開

ベンチャー企業を立ち上げ、医療のDX（デジタルトランスフォーメーション）化に取り組んでいる薬剤師がいる。ネクイノの代表取締役を務める石井健一さんだ。月経痛改善などに役立つピルを処方するオンライン診療プラットフォーム「スマルナ」を構築し、スマートフォンアプリでサービスを提供している。薬剤の完成度が高く、一定のニーズもある一方で、社会に浸透していないピル。供給と需要のギャップをテクノロジーで解決できると考えて事業を開始した。石井さんは「新しい医療の形を提案したい」と意気込みを語る。

ネクイノ代表取締役
石井 健一さん

スマルナはピルを処方するオンライン診療プラットフォーム。ユーザーはスマートフォンアプリを通じて自由診療下で医師の診察を受け、ピルを処方してもらう。自宅や職場で郵送され



たピルを受け取る。

例えば、低用量ピル12カ月分の処方の場合、12シート分の料金2万8560円と診察代1500円を初回に支払う。月あたりに換算した金額は2380円ほど。利用期間に応じて、1カ月ごと、3カ月ごとに購入するプランも選べる。相談までは無料。

月経困難症や子宮内膜症を治療するために保険適用を受けてピルを利用する場合の自己負担額と比べても概ね同程度の価格で済む。避妊目的でピルを利用する場合はもともと保険適用外であることからユーザーに不都合は少ないようだ。性や体の悩みを薬剤師や助産師などに聞いてもらえる機能も利用でき

る。アプリの累計ダウンロード数は80万件以上。10～30代女性を中心に利用が広がっているようだ。

ピルは排卵や生理に関わる女性ホルモンを配合した経口剤。普及率はフランスやドイツなどで30%を超える一方、日本ではわずか3%ほどに留まる。ピル服用に対する抵抗感、産婦人科クリニックのキャパシティ不足、入手しづらさなど、さまざまな要因を理由に社会に普及していない。しかし、ピルは治療に対する薬剤の貢献度も治療の満足度も高い。ギャップをテクノロジーで解消できると考え、スマ

ルナの事業構想を練り上げた。

最初の診察で最大1年分のピルを処方できるため、提携先の産婦人科医に大きな負担をかけずに済む。産婦人科医は分娩対応や手術など専門性の高い医療行為に力を注ぎやすくなる。医師数の少ない産婦人科の医療キャパシティは乏しく、仮にピルを利用したい人全員が診察に訪れると現場はパンクしてしまうという。

石井さんは「必要のある人は病院に行くべき。し
(8ページへ続く)



新卒生限定 **10泊12日**
ハワイ研修実施!

関西圏を中心に全国へオレンジ薬局を展開

初年度年収 **450～550万**

希望店舗での勤務OK! 働き次第で高収入も可能! あなたの頑張りを評価します!

- (株)プチファーマシスト
- (株)オレンジファーマシー
- (株)東京オレンジ薬局

全国に125店舗展開中!!

渋谷駅前店・池袋西口店・大阪中津店
阿倍野店・芦屋店・菊川店・北浜店 等

インターンシップ参加者募集

オレンジ・元気薬局

検索



薬剤師
国家試験
対策.com

薬剤師を目指す薬学生のための
国家試験対策支援サイトです



ご登録・ご利用完全無料

be89314 検索